

38. 20200225 城南宮のしだれ(枝垂れ)梅について

1. 梅はバラ科サクラ属に分類されます。
2. 中国の雲南省・四川省あたりに自生していた植物が、7世紀ごろに朝鮮半島を経由して、日本に伝来しました。
3. 梅は品種が多く、中国からの渡来種のほか、江戸時代にたくさんの品種の育成・改良が行われ、現在では300種以上あるといわれます。
4. 園芸学的な分類では、花の観賞を目的とする「花梅:はなうめ」と、実の採集を目的とする「実梅:みうめ」に分けられます。

さらに花梅は3系9性に分類されるそうです。

野梅系・緋梅系・豊後系の3つ

5. しだれ梅は「花梅」の1品種に当たり、その美しさから、庭木として楽しまれるだけでなく、盆栽も大変な人気があります。
6. しだれ梅の名所はたくさんあるそうですが、三重県桑名市のなばなの里、浜松市の奥山高原と、京都市伏見区の城南宮がWebサイトにとりあげられていました。
7. 2月25日に友人と城南宮を訪問しました。ちょうど「しだれ梅と椿祭り(2月18日から3月22日まで)の開催されている時期と重なったのでラッキーでした。お宮の庭も手入れが行き届いていました。
150本のしだれ梅が有名で、出向いた甲斐がありました。平日でお客さんも少なかったのも幸いでした。
京都の竹田駅から徒歩15分の距離でした。
8. 「咲きはじめ」から「6分咲き」までを探梅といい、春の訪れを感じる時期。「見ごろ」から「満開」までを観梅といい、しだれ梅が咲き誇る圧巻の景色を鑑賞する時期、そして「散りはじめ」には、散り行く様子を惜しみながら桜が咲く春を待つ惜梅では花びらの絨毯も楽しめるそうです。
9. しだれ桜と同じように、しだれ梅も植物ホルモンのジベレリンが遺伝的に不足しているため、重力刺激に対して上に伸びる力(枝を引っ張り上げる力:引っ張りあて材)が発達しないので、しだれるという現象を生むのだそうです。
よってジベレリンを処理すると、引っ張りあて材が形成されて枝がしだれなくなり、観光にとってはダメージになってしまいます。
10. この「しだれ性」に対して、一般の樹木は「立ち性」といわれます。



紅色のしだれ梅 咲きはじめ



満開に近い白色のしだれ梅



庭園には椿も多い 侘助

***城南宮について (HPでの説明から)**

都の守護と国の安泰を願って、平安遷都の際に京都の南に創建されてから1200年。城南宮は、引越・工事・家相の心配を除く「方除（ほうよけ）の大社」と仰がれています。家庭円満や厄除や安全祈願、また車のお祓いに全国からお見えです。また古くより、住まいを清める御砂や方角の災いを除く方除御札を城南宮で授かる習慣があります。そして曲水の宴が行われる神苑は、しだれ梅、椿、桜、藤、躑躅、青もみじ、秋の七草や紅葉に彩られ安らぎの庭になっています。

*2020年の枝垂れ梅と椿祭りは2月18日～3月22日に開催されています。

京都市伏見区中島鳥羽離宮町7
近鉄京都線竹田駅下車 15分